

AR投影可能な鉄筋探査機 GP8800

既設構造物の鉄筋探査において、計測したデータをAR(拡張現実)機能により投影することが可能な鉄筋探査機です。

新設床版・壁高欄技術

耐震補強関連技術

機械技術

他リニューアル技術事例

お客様のメリット

- 鉄筋探査機、既設構造物への書きの見落とし防止ができます。
- ARによる投影が可能なので、既設鉄筋の損傷等のリスク低減が可能です。
- 探査機がコンパクトなので、狭小部での計測が可能です。

技術の特徴（※記載内容に関して、(株)アクティオからのカタログ、技術資料を引用しています。）

最大探査能力 650mm

ダブル配筋の下部、PCケーブル、CD管（合成樹脂製可とう電線管）など、従来の探査機では検出が困難な部分の探査が可能になりました。

軽量かつコンパクトな仕様

壁際での探査において、壁から最小45mmまで探査が可能になりました。また、約100mmの狭い幅での走査も可能です。

特殊形状に対する探査

電柱や杭などの円柱形状部材に対しても探査が可能です。

AR（拡張現実）機能

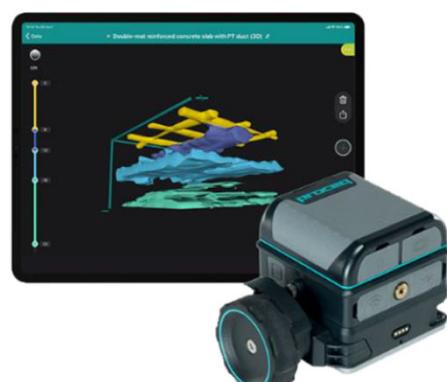
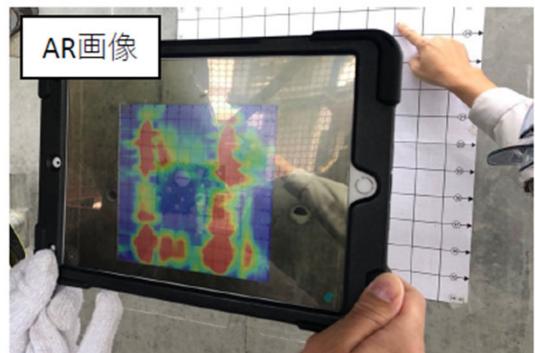
AR（拡張現実）機能により、2D/3Dデータの投影機能が搭載されています。高精度な画像を素早く処理し、かつiPadにより探査結果が表示されるため、操作が非常に簡単です。既設構造物内の鉄筋や鋼材を確認しやすいため、探査の熟練度は必要ありません。

データ管理

取得した探査データはiPadソフト内で編集可能で、データはクラウド上で共有管理されます。測定データと現場写真を一括で管理できるため、報告書の作成が容易になります。オプションで非破壊試験（かぶり検査）のフォーマットに出力することも可能です。

生産性向上

鉄筋探査からデータ転送、解析、編集、報告書の作成までの作業時間がこれまでより最大で70%短縮できます。



実績・事例

以下の工事において、GP8800による既設構造物の鉄筋探査を実施しました。

- ・西日本高速道路(株)関西支社 名神高速道路 塔ノ森高架橋耐震補強工事（京都府）
- ・西日本高速道路(株)関西支社 阪和自動車道 大野芝高架橋耐震補強工事（大阪府）
- ・西日本高速道路(株)関西支社 西名阪自動車道 松原柏原間橋梁耐震補強工事（大阪府）